

富里市子ども・子育て支援事業計画策定業務の
概要について

平成25年11月29日

富里市健康福祉部子育て支援課

1. 計画策定の基本的な考え方

<計画策定の目的>

市町村では、平成 24 年 8 月に成立した子ども・子育て関連 3 法^{*}に基づく子ども・子育て支援制度の下で、教育・保育・子育て支援などの充実を図るため、5 年間で一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成することとされています。

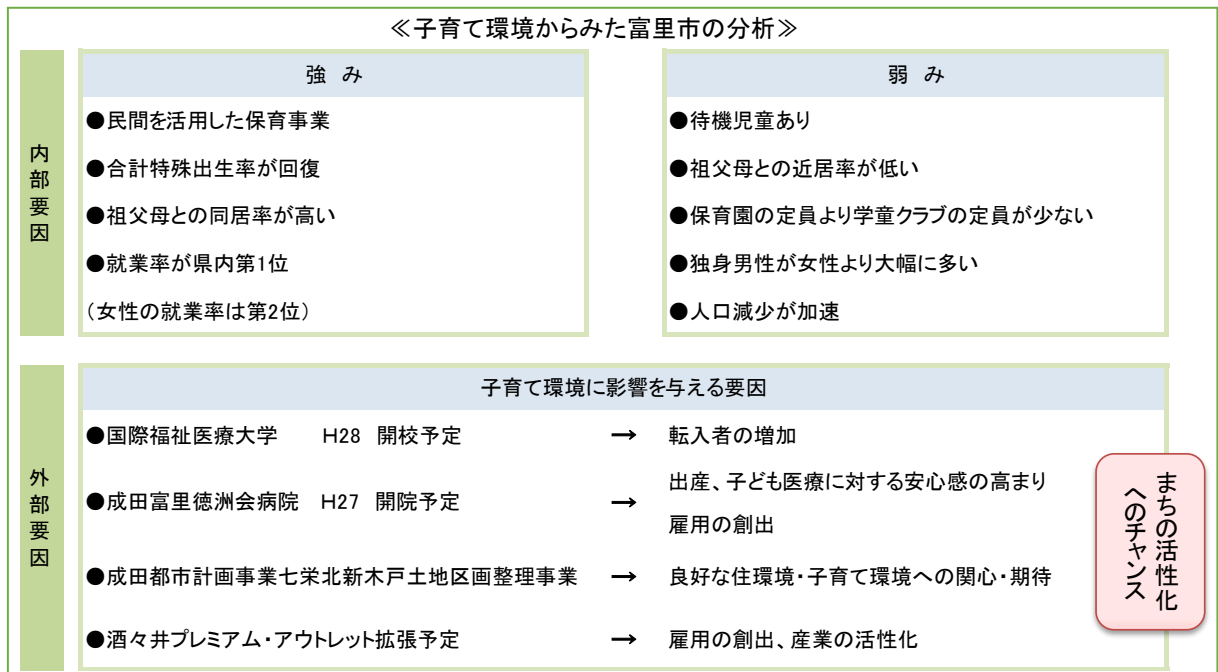
策定にあたっては、子ども・子育て支援法の基本理念等に基づき、地域の実情に応じた内容としていくことが求められています。

【ご参考：子ども・子育て支援法 基本理念】

- ・家庭、学校、地域、職域が、相互に協力する（保護者に第一義的責任）
- ・子ども・子育て支援の内容及び水準は良質かつ適切なもの
- ・子ども・子育て支援は、地域の実情に応じて、総合的かつ効率的に提供

※子育て関連 3 法：子ども・子育て支援法、認定こども園法の一部を改正する法律、関係法律の整備等に関する法律

<富里市の現状分析（地域の実情）>



<国の方針>

- 子育て関連 3 法^{*}の趣旨
 1. 質の高い教育・保育の総合的な提供
 2. 保育の量的拡大・確保
 3. 地域の子ども・子育て支援の充実

<富里市のめざす子育て支援>

- ◎まちづくりの柱（人口の維持・増加・定着）
- ◎働く女性への支援（M 字カーブの解消）
- ◎子育ての孤立化防止、子育て不安の解消
- ◎保育サービスの量と質を確保
- ◎出生率の改善

2. 富里市の現状

(1) 子育て環境からみた富里市の＜強み＞

① 民間（認可外保育施設も含む）を活用した保育事業

富里市は、公立保育園・幼稚園が4か所、私立保育園・幼稚園が6か所、認可外保育施設が3か所あります。子どもの多い人口集中地区に私立や認可外、周辺地域に公立を中心に整備するなど、保育ニーズにあわせて民間の力を活用しています。

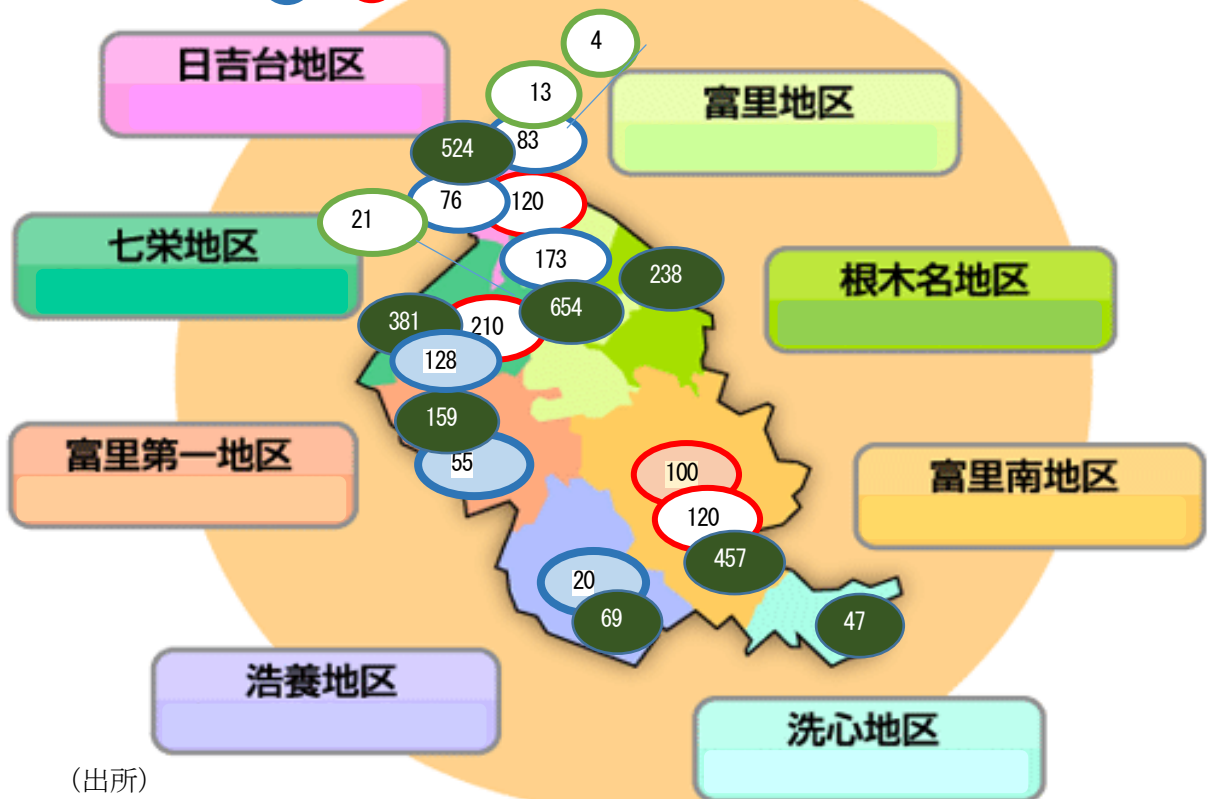
<保育園・幼稚園数>

	公立	私立	認可外	合計
保育園	1	3	3	7
幼稚園	3	3	0	6

保育ニーズに
機動的に対応

● 小学校 ○ 幼稚園 ○ 保育園 ○ 保育園（認可外）

※ 枠内の数字：小学校、幼稚園、保育園（認可外）は在籍児童数、保育園は定員数
※ ●・○ は公立

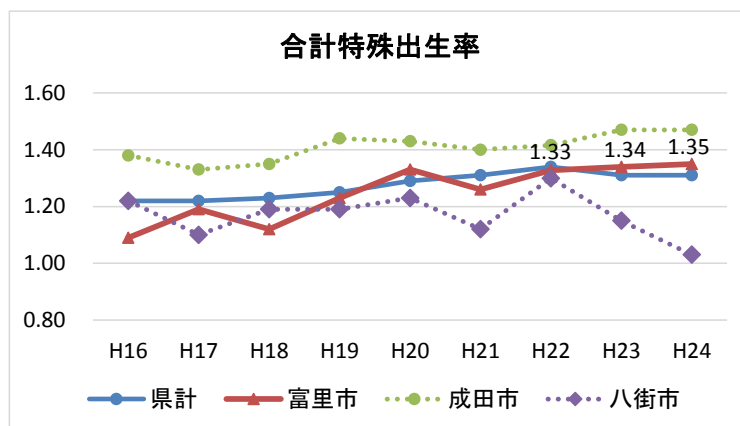


(出所)

- ・ 富里市統計書(平成24年度版): 幼稚園別・小学校別児童数 (平成24年5月1日現在)
- ・ 富里市ホームページ: 保育所定員 (平成24年4月1日現在)
- ・ 千葉県ホームページ: 認可外保育施設市町村別一覧
- ・ 富里市社会福祉協議会ホームページ (地区概略図)

② 合計特殊出生率が回復

平成 22 年以降の富里市の人口は、全体としては減少傾向（平成 22 年 51,367 人 → 平成 24 年 50,183 人）にあります。しかし、平成 22～24 年にかけて合計特殊出生率は上昇し、ほぼ県平均並みとなっています。



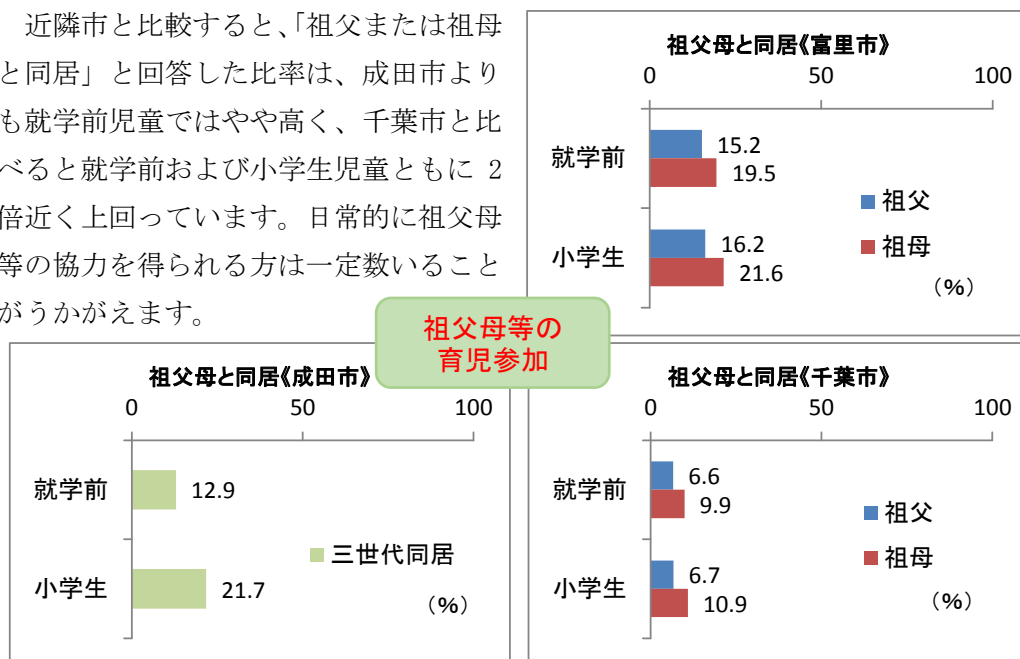
人口減少抑制

(出所：千葉県毎月常住人口（3月末現在）、千葉県健康福祉指導課)

③ 都市部に比べて、祖父母との同居割合が高い

平成 21 年度に実施された、次世代育成支援行動計画（後期）に関する「ニーズ調査結果」をみると、富里市では、就学前および小学生児童の 2 割前後が祖父母と同居しています。

近隣市と比較すると、「祖父または祖母と同居」と回答した比率は、成田市よりも就学前児童ではやや高く、千葉市と比べると就学前および小学生児童ともに 2 倍近く上回っています。日常的に祖父母等の協力を得られる方は一定数いることがうかがえます。

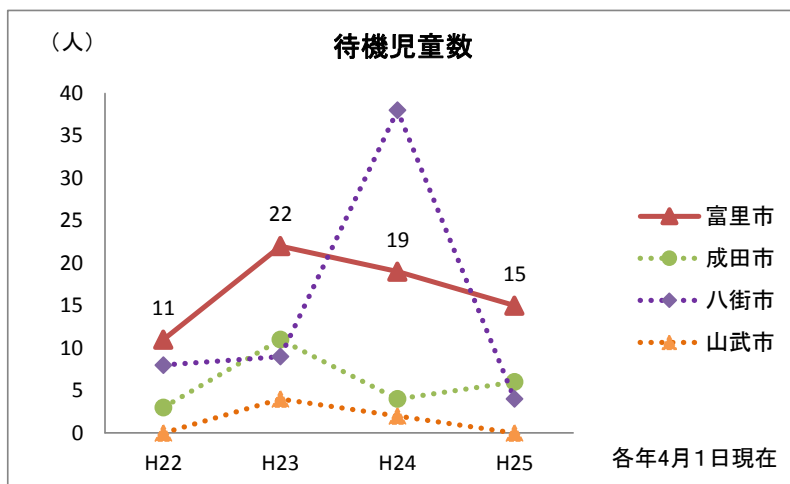


(出所：各市次世代育成支援行動計画後期計画策定に関するニーズ調査結果報告書)

(2) 子育て環境からみた富里市の〈弱み〉

① 待機児童あり

千葉県ホームページによると、平成 25 年 4 月時点の富里市の待機児童数は 15 名です。減少傾向にありますが、平成 25 年は成田市が 6 名、山武市が 0 名と周辺市より多くなっています。



就労継続の不安

(出所:千葉県ホームページ)

② 保育園の定員（3～5歳）よりも学童クラブの定員が少ない

児童数に対する定員の割合を年齢別に比較すると、3～5歳児童に対して保育園の定員の割合は 22.6%となっていますが、小学生児童に対する学童クラブの定員の割合は 1～3年生では 19.0%と、保育園の定員（3～5歳）の割合を下回っています。

また、平成 21 年度に実施された、次世代育成支援行動計画（後期）に関するニーズ調査結果をみると、就学前児童の保護者では「学童クラブを利用したい」と回答した割合は 3 割強を占めるものの、実際に小学生児童の保護者で「学童クラブを利用している」と回答した割合は 1 割弱にとどまっています。

〈児童数に対する保育園・学童クラブの定員の割合〉

小1ギャップ

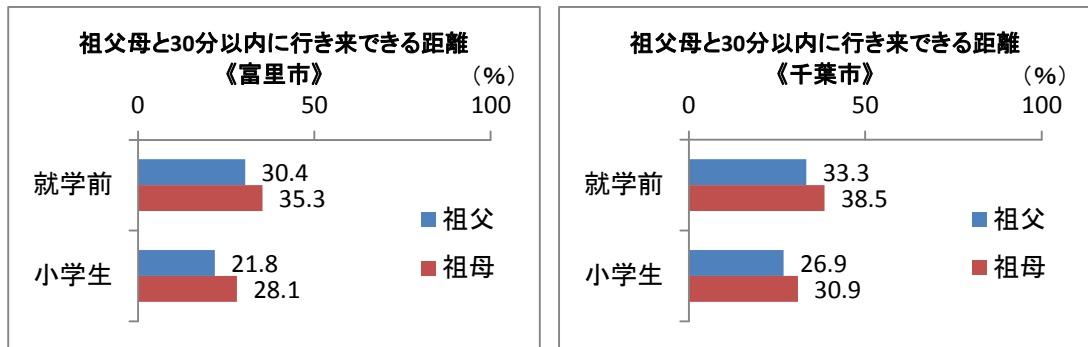
	0～2歳 (保育所)	3～5歳 (保育所)	1～3年生 (学童クラブ)
児童数に対する定員の割合	15.6%	30.6%	28.0%

(出所:富里市子育て支援課および千葉縣市町村別・年齢各歳人口(平成 25 年 4 月 1 日現在))

③ 祖父母との近居割合が低い

前項の富里市の強みでは、「都市部に比べて祖父母との同居割合が高い」ことを挙げましたが、30分以内に祖父母が居住している「近居」の状況をみると、千葉市に比べて割合が低くなっています。

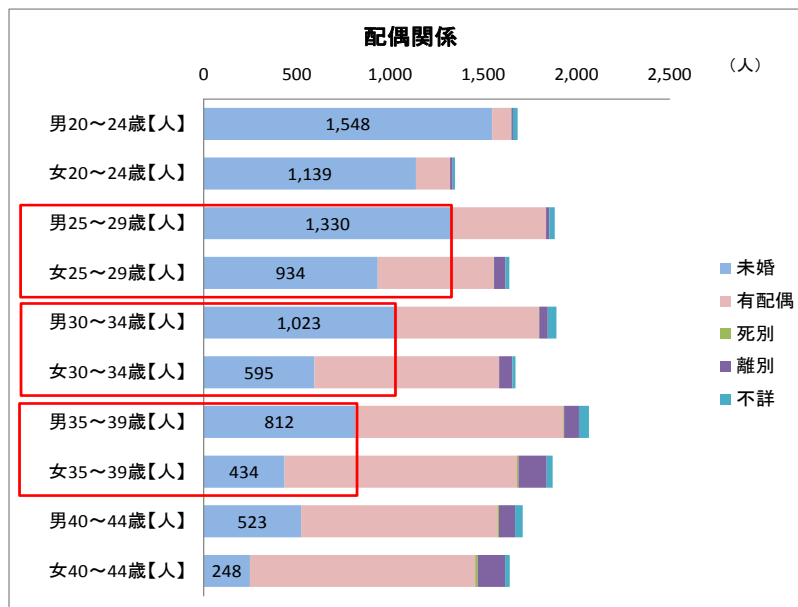
祖父母等からの
助けは二極化



(出所：各市次世代育成支援行動計画後期計画策定に関するニーズ調査結果報告書)

④ 独身男性が多い

富里市の男女別年齢構成をみると、結婚・出産適齢期である25～39歳の未婚の男女の人口において、男性が女性を大きく上回っています。特に30～34歳では男性は女性を400人以上上回っています。



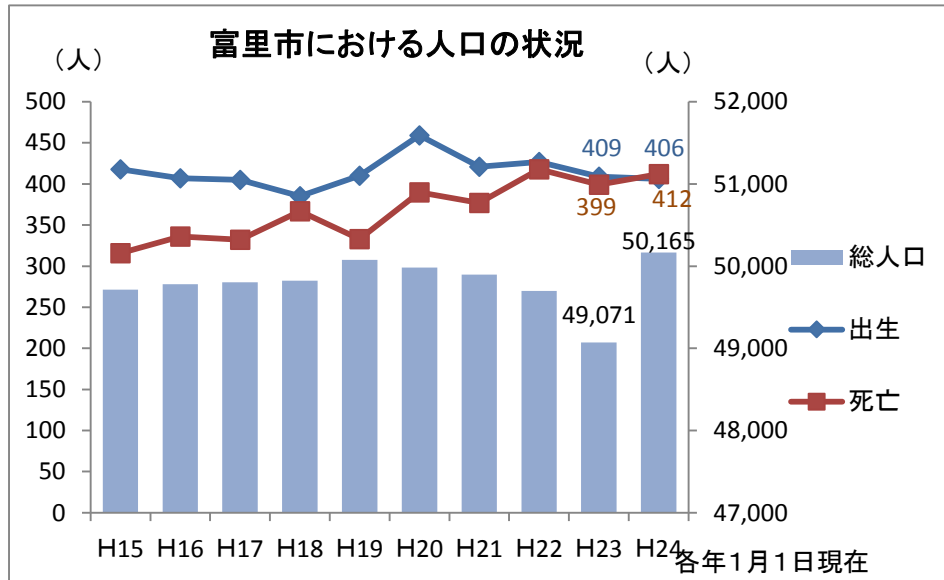
独身男女の
出会いの場の
必要性を検討

<ご参考>

① 富里市における人口の状況

人口全体としては平成 19 年をピークに減少傾向にあり、死亡数が増加している影響が大きいとみられます。

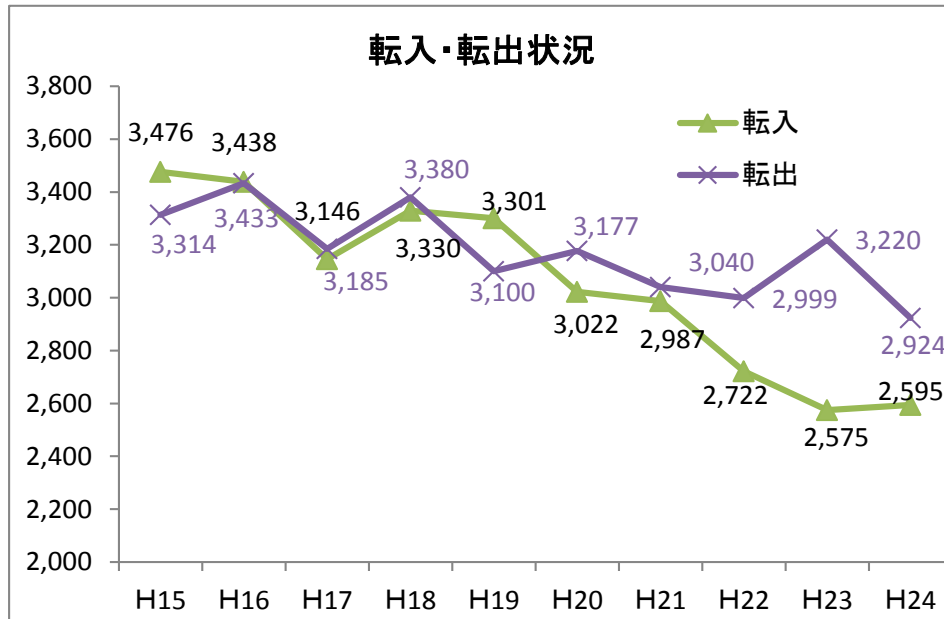
(平成 23～24 年にかけて増加していますが、平成 24 年 7 月より住民基本台帳の一部改正により外国人住民についても住民基本台帳の対象となったため)



(出所) 富里市統計書 (住民基本台帳、千葉県毎月常住人口)

② 転入・転出状況

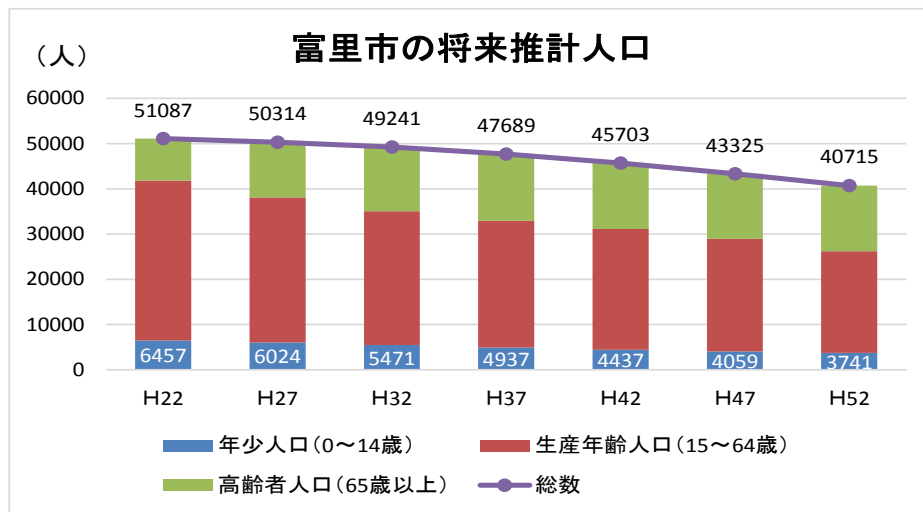
転入・転出状況をみると、平成 20 年以降、転出が転入を上回る社会減の傾向にあります。



(出所) 富里市統計書 (千葉県毎月常住人口)

③ 富里市における人口の見通し

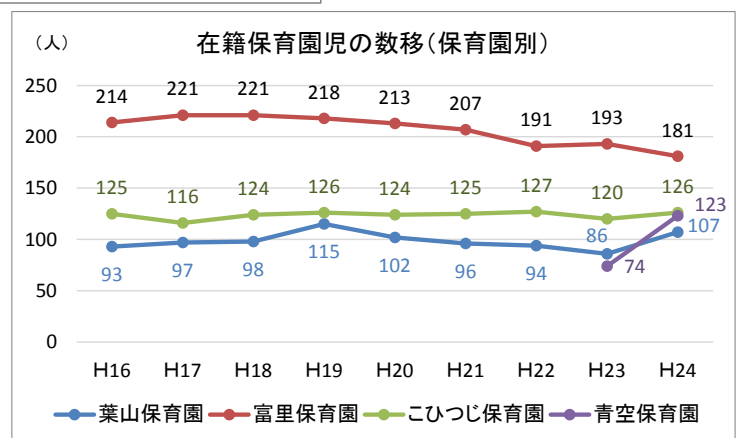
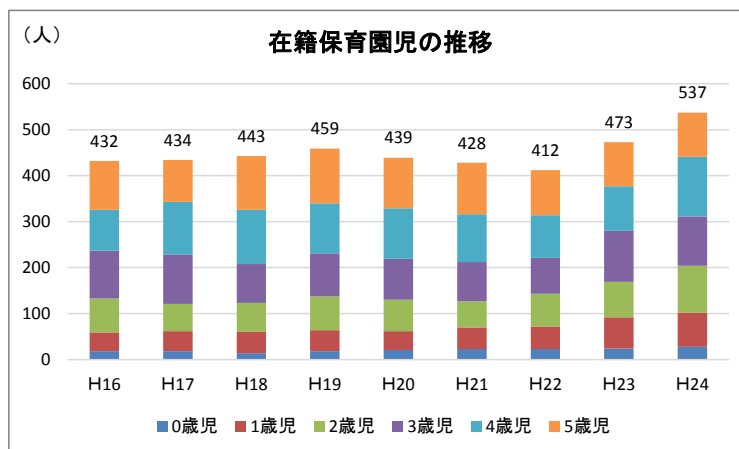
富里市では自然減（死亡数が出生数を上回る）、社会減（市外への転出が転入を上回る）により、平成22年から52年で約1万人の減少が見込まれます。



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所

④ 在籍保育園児の推移

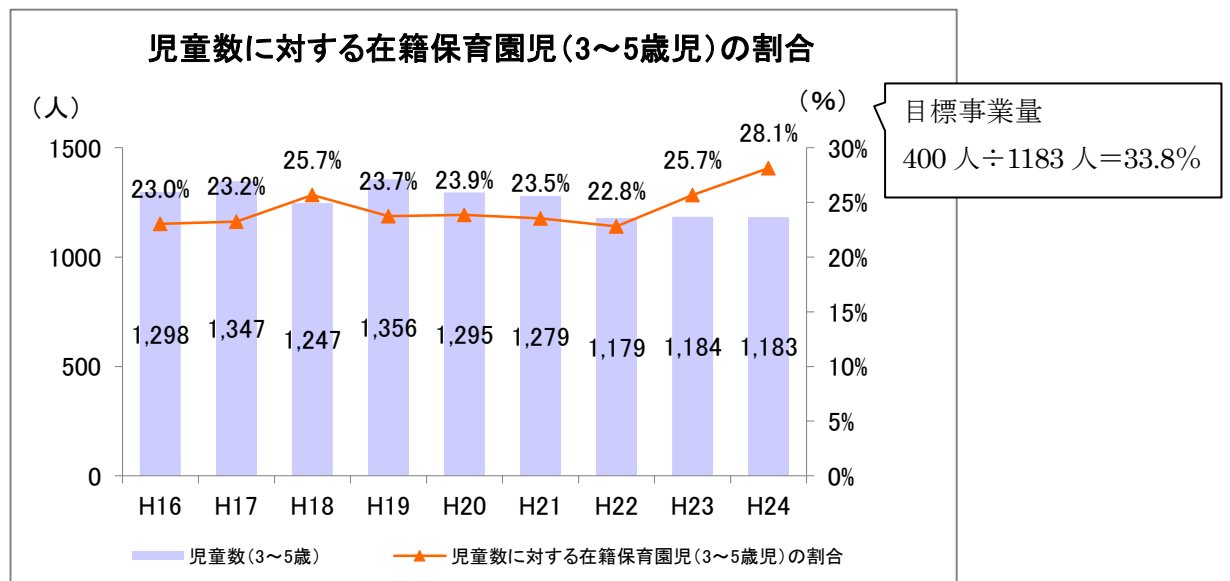
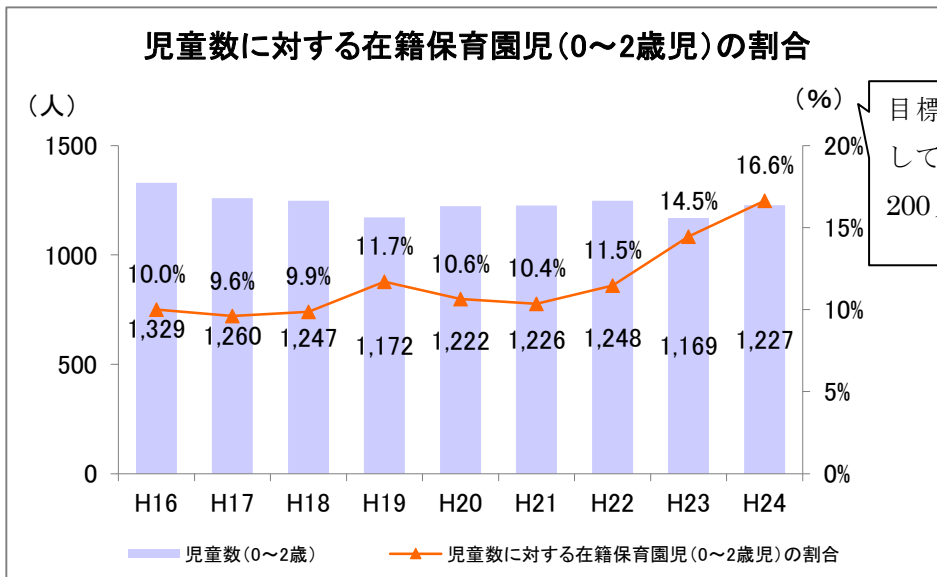
富里市では児童数は減少傾向にあります。平成23年に1園増えたこともあり、在籍園児の割合は増加傾向にあります。



(出所) 富里市子育て支援課 (各年5月1日現在)

⑤ 児童数に対する在籍保育園児の割合

児童数に対する在籍保育園児の割合は、0～2歳児、3～5歳児ともに平成23年以降増加傾向にあります。次世代育成事業行動計画の目標事業量と平成24年の数値をみると、0～2歳児は目標事業量（16.3%）を達成し、3～5歳児は目標事業量（33.8%）を下回っています。



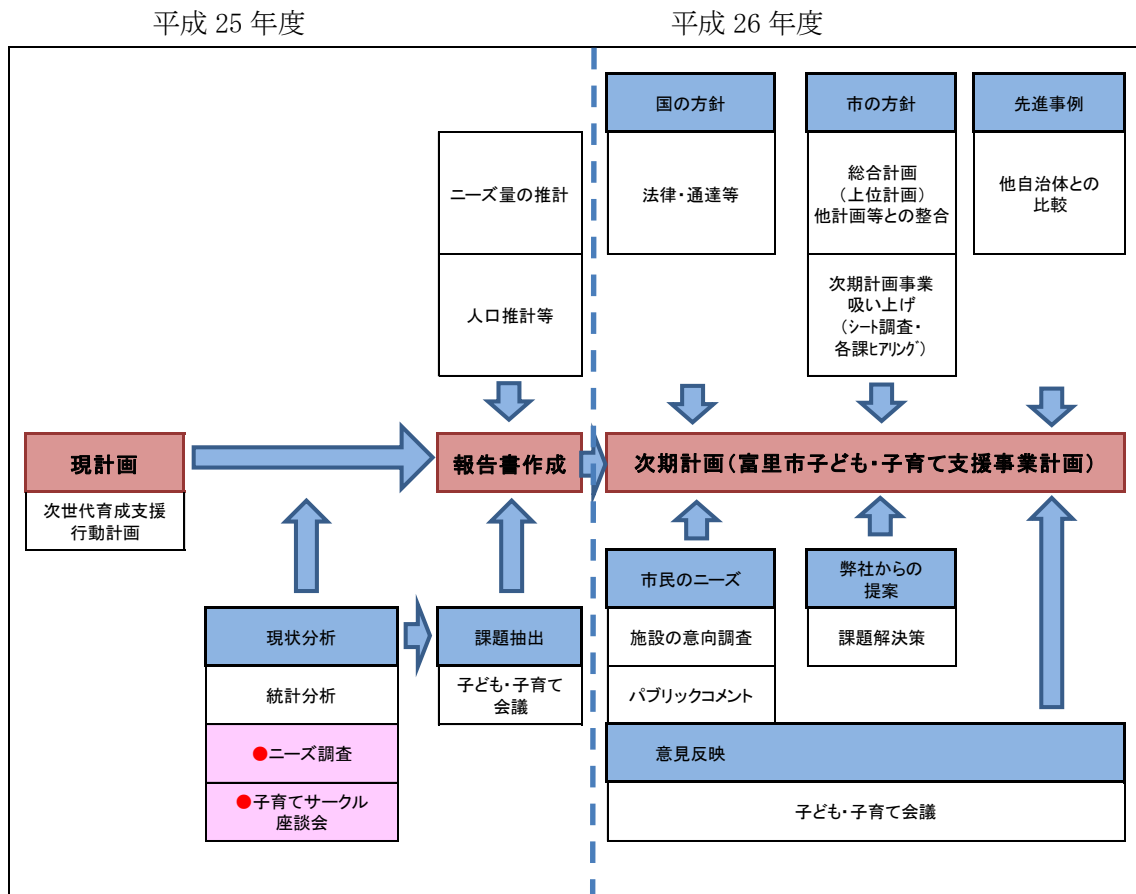
(出所) 富里市子育て支援課、千葉県市町村別・年齢各歳人口（各年4月1日現在）

3. 計画策定の流れ

平成 25 年度は、ニーズ調査、子育てサークル座談会を実施し、調査報告書を作成します。

平成 26 年度は、施策の中身や事業について整理し、「事業計画案」を作成します。「事業計画案」は、適宜子ども・子育て会議に諮り、意見を反映していきます。

<フロー図>



「子育てサークル座談会」(ちばぎん総研からの提案)

子育てサークルの母親等を対象とした座談会を開催し、子育てに関するニーズを生の声で把握します。子連れでも気軽に参加してもらえるよう、出張保育サービスを準備します。



←座談会の様子

↓ 保育サービスの様子



4. ニーズ調査

(1) 調査概要

平成 25 年度は、就学前・小学生児童を持つ保護者、市民を対象としたニーズ調査を行います。平成 26 年度は、幼稚園などの施設を対象にした施設の意向調査を行います。

就学前・小学生児童を持つ保護者へのニーズ調査では、子ども・子育て支援事業計画で確保を図るべき、教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、主に教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」について伺います。

調査対象	通数	調査内容
〔25 年度〕 就学前児童保護者	2,000 通	・現在の教育・保育サービス利用状況 ・現在の教育・保育サービスニーズ
〔25 年度〕 小学生児童保護者（1～3 年生）	600 通	・近い将来の教育・保育サービスニーズ ・子育て環境の現状把握
〔26 年度〕 施設の意向調査（必要に応じて ヒアリングを実施）	10 先	・施設、設備、児童の人数、職員の状況 ・認定こども園への意向 ・今後の保育事業の方向性 ・施設運営上の課題
〔25 年度〕 25～35歳の市民 【ちばぎん総研からの提案】	500 通	・将来の子育て支援ニーズ ・子育てに関する意識

(2) 調査の考え方

上記の調査を実施することにより、前回調査との経年比較、就学前・小学生児童を持つ保護者とこれから子どもを持つ市民との共通点・相違点の分析、市民のニーズと施設の意向の差などの分析を行い、富里市における子育て環境の現状やニーズを把握していきます。

